

感染症対策と言われる中で 子どもたちの学びを止めない 大人たちの努力と覚悟と工夫とは？



講師
原口真一さん

栃木県内の元公立中学校校長

- ・アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）とは？
- ・「美しさと正しさ」とは？
「心を動かす（感動する）こと」の意味は？
- ・右脳と幸福感
- ・「自己肯定」と「他者の尊重」が学びの基本
- ・感染症対策の中で子どもたちを傷つけている空気や言葉とは？
- ・健全な教育環境とは？
- ・感染症予防と学習効率の両立
- ・教育者の視点は「子どもたちにとって～」が最優先

公立中学校教員として35年間勤務。2021年3月末定年退職。
最後の4年間は学校経営に携わる。

コロナ禍初年度には感染予防対策に追われる中、
多くの専門家から直接学びほぼ例年通り行事をこなす。
生徒たちにも主体的に判断できる力を養うための支援を実施され続けています。

講演会

感染症対策で失われるものにも目を向けて ～いま子どもたち 私たちのココロとカラダを守るには～

日時

9月25日(日)

13:00 開場

13:30～16:30 講演

16:30～17:00 質疑応答

会場

市民プラザ第三会議室

新潟県上越市土橋1914-3

参加費

500円(学生無料)

当日会場にてお支払いをお願いします

申込み

QRコードのフォームより
お申込みください→
またはメールでの申込みも
受け付けております



コロナ禍と言われ三年目に入りました。
2020～21年、その只中にあり、
子どもたちの見ている景色はどのようなものだろう？
それが心に及ぼす影響は？
果たしてこのような中で成長してよいものか？
と想像力を働かせ学校経営をされていた
校長先生がいらっしゃいました。

原口先生のお話を聴き、感染症対策という中に
あっても学びを止めない工夫や、子どもの成長を
ど真ん中に据えた時、大人たちができることを
一緒に考えてみませんか。

多くの方々のご参加をお待ちしています。
お子様連れも大歓迎です。

【お問い合わせ】
未来へたねまき隊

お問い合わせ担当者 北浦瞳 西巻遥

分からないこと気になることは
お気軽にお問い合わせください

メールアドレス

kaachan.touchan.s@gmail.com